

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 東邦大学医療センター大橋病院における大腿骨近位部骨折の手術待機時間
と手術待機リスク因子の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 助教・高田和孝

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は東邦大学医療センター大橋病院 整形外科で、大腿骨近位部骨折の手術を待機される原因を調査し検討することで、可能な限り原因を除去し早期手術を可能にすることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、患者様に必要な治療を遅延させることなく適切な時期に治療を行うことにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

- ・診療録に記載されている内容を用いて手術待機の原因の特定
- ・手術記録
- ・単純 X 線や CT の画像情報
- ・入院期間や手術時期など治療期間がわかる情報
- ・個人情報(年齢や病歴、内服状況、身長、体重など)

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 5 月より利用を開始します

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当なし

【試料・情報の取得方法】

対象者:2018 年 4 月～2022 年 3 月までに東邦大学医療センター大橋病院

整形外科において、大腿骨近位部骨折で手術加療を受けた方 250 名のうち 75 歳以上を対象とします。

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:高田和孝役職:助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:高田和孝 役職:助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年6月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外 科

職位・氏名 助教・高田和孝

電話 03-3468-1251 内線 7517